

令和7年度

一般選抜A日程(2/4) 選択(世界史探究)

出題意図

I	<p>本問題は、ローマの歴史的な発展とその社会構造の変化についての理解度を測ることを目的に出題した。紀元前10世紀から紀元前27年までのローマの政治、経済、軍事の変遷を通じて、共和政から帝政への移行過程を学ぶことが求められる。具体的には、ローマの都市国家の形成、共和政の成立、平民と貴族の対立、領土拡大による社会変動、内乱の時代、そして帝政の開始に至るまでの重要な出来事を社会構造的に理解することが重要であると考え出題した。</p>
II	<p>本問題は、近年の中東危機を受けて、受験者の時事問題を歴史的に把握する力を測ることを目的としている。具体的には、20世紀のパレスチナ問題に関する年表を通じて、第一次世界大戦からパレスチナ暫定自治協定までの重要な出来事を理解し、それらが現代の中東情勢にどのように影響を与えているかを考察する力を測ることを意図している。出題者は、学生が歴史的背景を踏まえた上で、現在の中東問題をより深く理解し、分析する能力を身につけているかを問おうとした。</p>
III	<p>この問題は、高校生の歴史的な交易の広がりとその経済的・文化的影響に関する理解度を測ることを目的としている。13世紀から16世紀にかけての地中海地域および世界各地における交易の発展とその影響を理解することを狙っている。イタリア商人の活動、ポルトガルとスペインの航海、アメリカ大陸の征服、東南アジアの香辛料貿易、中国におけるキリスト教布教など、各地域での重要な出来事を通じて、受験者の歴史的な交易の広がりとその経済的・文化的影響を総合的に把握する力を測ることを目指した。</p>